

愛・地球博20周年記念行事の概要 ①

開催趣旨	令和7年に愛・地球博を開催して20周年を迎えることから、当時、愛・地球博サテライト会場があったささしまエリアにおいて、本市主催により「愛・地球博20周年記念行事」を開催する。
実施目的	愛・地球博の理念と成果を再認識し、次世代へ継承するとともに、名古屋の多彩な魅力を市内外に発信する。
事業名	愛・地球博20周年記念行事
催事名	De La MIRAI NAGOYA(デ・ラ・ミライ・ナゴヤ) ～未来を創ろう 愛・地球博20周年記念行事～
期間	令和7年9月13日（土）・14日（日）2日間 両日とも10:00～17:00
会場	●キャナルパークささしま パークエリア及びキャナルゲートエリア ●名古屋コンベンションホール 3Fメインホール ※2F会議室は一部控室利用 ●グローバルゲート 1Fアトリウム ●中京テレビ放送 1FプラザC
来場想定	約5,000人 2日間
主催	名古屋市 担当部署：総務局総合調整課
内容	●シンボルコンテンツによるプロモーション ●キャナルパークささしま会場（パークエリア及びキャナルゲートエリア） ・市民参加型コンテンツを通じた文化交流、地域の魅力発信／ステージイベント、ブース出展（体験、交流）等 ・体験型ワークショップの実施（環境学習、伝統工芸等） ・名古屋の魅力発信、次世代技術の体験等 ●名古屋コンベンションホール 3F メインホール ・メモリアルシンポジウムの実施（SDGs(循環経済)、生物多様性等） ●グローバルゲート 1F アトリウム ・愛・地球博の理念継承・成果継承 愛・地球博「大地の塔」メモリアル展示 ・日本のこころ 展示、体験型ワークショップ（万華鏡、切り絵） ●中京テレビ放送 1F プラザC ・地球のいのち 展示、体験型ワークショップ （協力／東山動植物園、名古屋市科学館、名古屋港水族館、JICA）



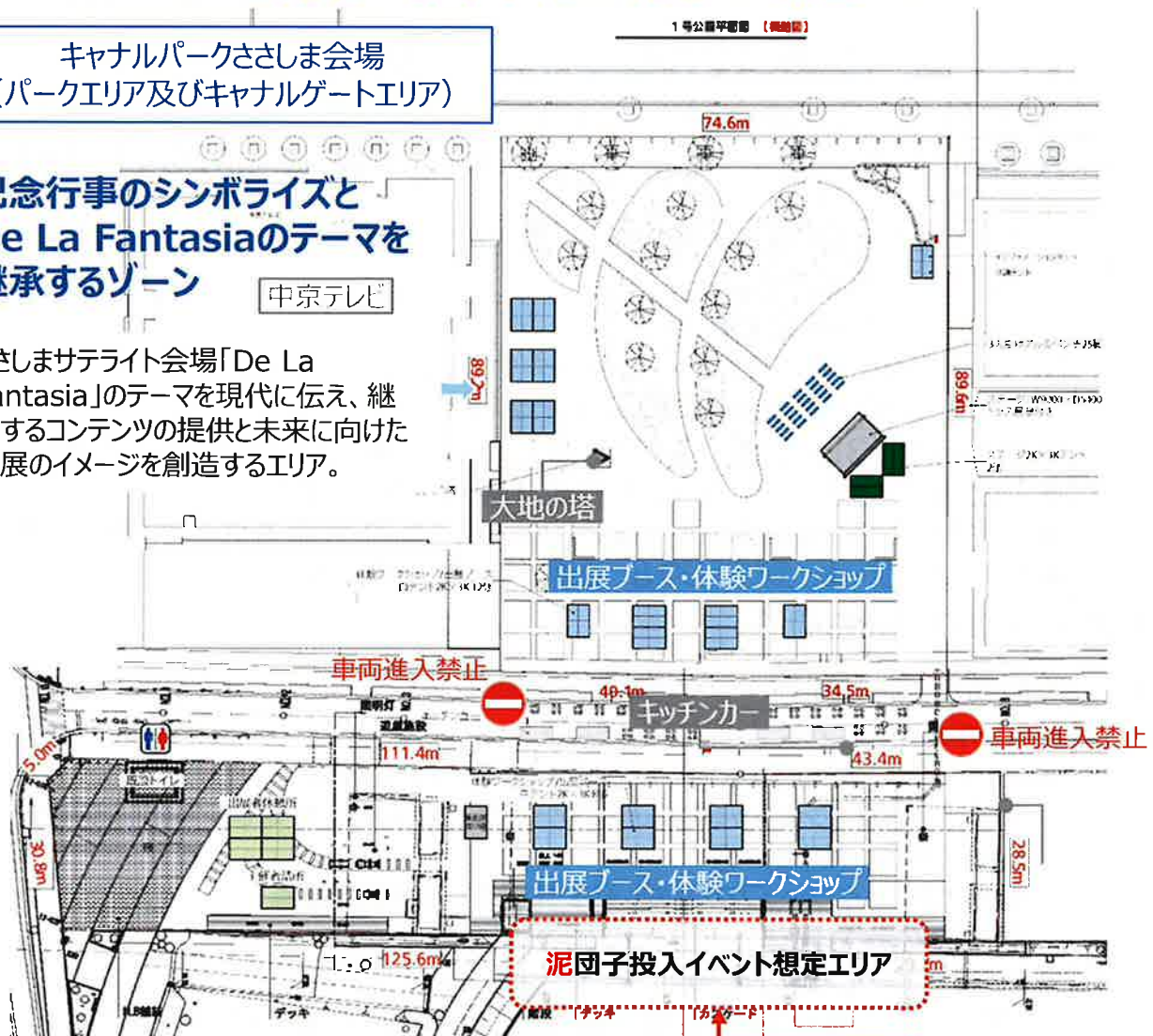
愛・地球博20周年記念行事の概要 ②

キャナルパークささしま会場
(パークエリア及びキャナルゲートエリア)

記念行事のシンボライズと De La Fantasiaのテーマを 継承するゾーン

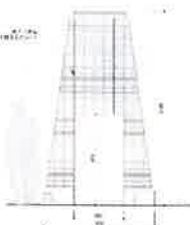
中京テレビ

ささしまサテライト会場「De La Fantasia」のテーマを現代に伝え、継承するコンテンツの提供と未来に向けた発展のイメージを創造するエリア。



大地の塔 ミニパビリオン

愛・地球博 名古屋市パビリオン「大地の塔」を現代に伝えるイメージモニュメントを設置。
(高さ約3m)



世界の文化大交流／ステージ・ブース

愛・地球博で国や文化の違いを超え、「地球大交流」を実現した「グローバルコモン」。今再び、世界の様々な国や民族の文化を集めて、賑やかなステージやブースを構成します。

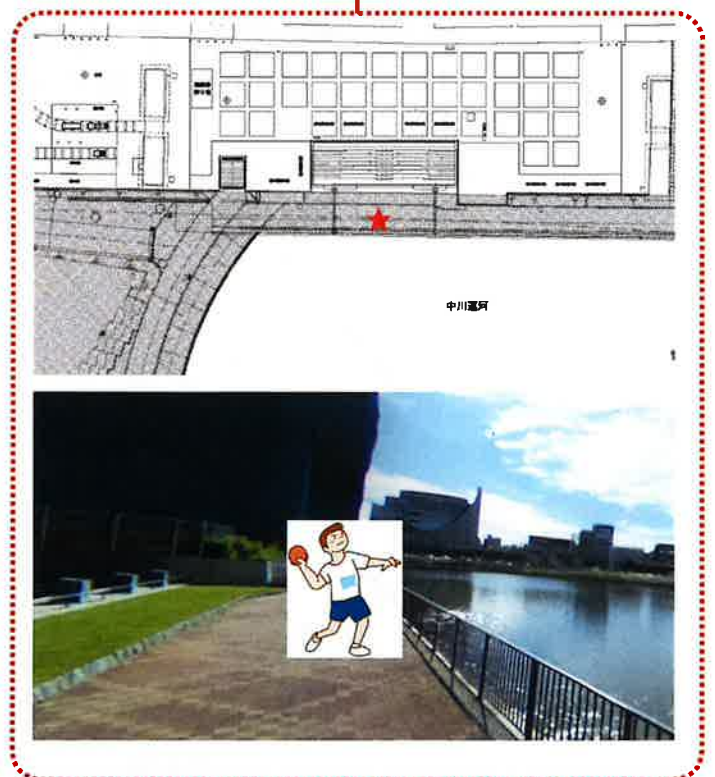


市民参加：地域文化活動家／ステージ・ブース

名古屋の地域文化を広げる機会を提供。出演者は市内で活動している地域文化活動家にステージやブースを提供。



魅力発信／「ものづくり」「武家文化」



中川運河堀止エリア環境学習

in 名古屋市 愛・地球博20周年記念行事

ご協力依頼

水環境整備に直面する中川運河では、水・緑・生き物に親しめる水辺空間を形成し、賑わいのある運河を未来の子どもたちに引き継いでいくために、水質浄化の取組が推進されています。

そこで、名古屋市の愛・地球博20周年記念行事の機会に、環境学習の一環として、中川運河堀止の水質浄化に向けた理解促進と、子どもたちの環境課題への認識と理解を深め、自身の行動変容へとつなげる体験学習として実施を企画するものです。

つきましては、中川運河堀止エリア近郊学区のお子様を中心に、ご参加のご協力をご相談をさせていただきますので、何卒、よろしくお願いいたします。

内容 環境学習の一環として、EM(有用微生物群)を活用した泥団子の中川運河の堀留に投げ込もう

<EMとは>

光合成細菌や、発酵型の乳酸菌、酵母など、自然界にいる人にも環境にもやさしい善玉菌の集合体です。これらの善玉菌を絶妙な比率でブレンドし、相乗効果を生み出したのがEMという共生関係です。EMは、微生物の働きを利用して、汚染物質の分解などを行うとされています。

場所：キャナルパークささしま 中川運河堀止緑地内

実施：(案)	実施日時	9月14日(日) 1回目11:00～ 2回目14:00～
	参加者	市内小学生想定 ※近郊学区には事前相談・調整
	想定定員	各回 30～50名程度
	参加費	無料



内容：中川運河の歴史や環境学習

事前：2か月程度前 体験学習とEM団子の説明

事前：2週間前 EM団子作成

当日：レクチャー(場内ブースにて)、団子投入

※事前団子作りのみ、当日参加のみ可

中川運河の歴史や水質改善
の取組、将来の賑わい創出
などもレクチャー

今後のスケジュール

5月中旬：近郊学区へのご説明

6月中旬：募集案内用紙の配布提供

7月上旬～7月下旬：参加募集期間

8月上旬：参加者への案内と説明会(オンライン)

8月26日～9月7日：団子作り

9月14日：当日参加、団子投入

応募要項案

応募条件：名古屋市にお住まいの小学生

応募方法：専用応募フォームから申込

※申込保護者名、住所、参加人数、学区名、学年、メールアドレス

※ご家族、知人内で最大4名のお子様の申込可。

※重複した申込がある場合は、最後の申込を正として、以前の申込を抽選対象外。

募集期間：7月上旬～7月下旬

当落案内：8月上旬

応募者多数の場合は、抽選のうえ、当落をメールで送信

ご相談内容

①協力相談

②学区等より、子どもたちへの参加案内

③ご要望に応じて、個別の説明会を実施対応可能

EM団子投入の影響について

<水深への影響の推察>

- ・EM菌は溶けて流れる。
- ・土は残るが、一部は水に溶けて流れていくと推測され、水深が浅くなるなどの懸念は不要。逆にヘドロが分解されて浅くなることも考えられる。

<投入による水質や堀止底部への影響の推察>

- ・団子の投入目安は1㎡あたり1個である(500㎡)今回の投入面積を最大30mの半円の2分の1と仮定 $30 \times 30 \times 3.14 \div 2 = 400 = 1,413\text{㎡}$ となり、目安となる投入個数は1,413個となる
- ・対象範囲への投入量は、目安には及んでおらず、今回の1回の実施による浄化成果は、顕著には見られないと推測

<ヘドロの分解について>

- ・ヘドロの分解についてはEM団子だと1個/㎡、EM活性液だと水流量の1/5000~1/10000が目安となる
- ・上記目安量の投入を行うことで、ヘドロが有機堆積物に細かく分解され下流へ流れていき、最終的には生物のエサになる ※大きさは最大でも握りこぶし程度でポンプなどを詰まらせる類のものではない
- ・上記目安を越えた投入を行うと、ヘドロの分解が加速度的に行われることで一時分解されたヘドロが水面に浮遊した事例もあるが、容量を守っていればこうした懸念事項は発生しない。今回の団子の投入量がこうした目安に達しないことは上述の通り。

本催事の事務局及び協力企業である名古屋ステーション開発では、本件の相談を名古屋港管理組合及び名古屋海上保安部に事前に相談し、実施についての承諾と、手続きの指導をいただいております。

EM団子の作り方

用意するもの EM団子約100個分



[土]14Kg
粘土質の方が
適しています。



[EMボカシ]
700g
米ぬかでも可



[EM活性液]
4~5L
米のとぎ汁EM
発酵液でも可



[EMスーパー
セラ発酵C]
15g



大きめの桶やタライ



ジョウロ



乾燥用のトレイ



新聞紙



大きめの桶やタライ
に土、EMボカシ
(米ぬか) EMスー
パーセラ発酵Cを入
れてよく混ぜます。



2

使用する土の湿り具合に合わせて、
団子状に固めやすい粘度になるま
でEM活性液を加えます。



3

粘土状になったら、テニ
スボール程度の大きさに丸め
ます。



4

トレイに新聞紙を敷き、丸
めた団子を並べます。



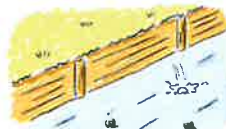
5

急激な乾燥を避けるため直射
日光や強い風の当たらないこ
ろで熟成させます。



6

2週間程度で菌糸が生えてきた
ら完成です。



7

1㎡あたり1個を目安に投入しま
す。(ヘドロが多い場所はもう
少し多めに投入します)

泥団子を作って、投げて、学ぶ！ 中川運河環境体験ミッション！

参加者
募集

みんながもっと水や緑、生き物と触れ合えるように、そして、にぎやかな運河を未来の子どもたちに残せるように、中川運河をきれいにする取り組みが進んでいます！

今回、名古屋市の愛・地球博20周年記念のイベントで、みんなで運河と水環境について学び、考えるきっかけとなる体験学習をすることになりました。

EM(有用微生物群)を活用した泥団子を作って運河に投げ入れる体験を通して、水環境の大切さを知り、みんなでできることを一緒に考え、明日からの行動に変えて、みんなで運河を守っていきましょう！

EM団子とは> 光合成細菌や、発酵型の乳酸菌、酵母など、自然界にいる人にも環境にもやさしい善玉菌の集合体です。これらの善玉菌を絶妙な比率でブレンドし、相乗効果を生み出したのがEMという共生関係です。EMは、微生物の働きを利用して、汚染物質の分解などを行うとされています。

イベント概要

【日程】

団子作り／ 8月26日～9月7日 時間未定

団子の投入／ 9月14日(日) ①11:00～②14:00～

【会場】

団子作り／調整中

団子投入／中川運河堀止緑地内(団子投入)

【参加定員】

団子作り／各回50名

団子の投入／各回50名



参加方法

- ① 団子作りと中川運河堀止への投入の両方参加
- ② 8月下旬～9月上旬：団子作りのみ希望
- ③ 9月14日：中川運河堀止への投入のみ希望

8月下旬～9月上旬

泥団子
作り

泥団子
保管・熟成

9月14日(日)

会場から
堀止に投入

募集要項

応募条件：名古屋市にお住まいの小学生

応募方法：専用応募フォームから申込

※申込保護者名、住所、参加人数、学区名、学年、メールアドレス

※ご家族、知人内で最大4名のお子様の申込可。

※複数申込された場合、最新の申込のみを有効とします。

※原則、保護者同伴でご参加ください。

募集期間：7月上旬～7月下旬

当落案内：8月上旬

応募者多数の場合は、抽選のうえ、当落をメールで送信



【お問合せ】

名古屋市 愛・地球博20周年記念行事「市民参加事務局」

メール：shiminsanka@lms-g.jp